

ラツツ出力 Rats_DRC_R_マクロの使用法

0.機能

ラツツネストをガーバーデータ化するマクロです。
DRCの未配線レポートに記載されている座標を元に線分を作成します。
Camtasticなどのガーバーデータと合成して印刷してください。

使用方法

1. 「Altium designator」のDRC

DRCレポートをコピーしてテキストエディタで未配線(アンルート)だけのレポートに事前に編集してください。

ハイパーリンクが貼られているので直接EXCELに貼りつけるのは禁止しています。

2. 「DRCシート」への貼り付け

テキストエディタで編集した内容を「DRCシート」のA列に貼り付けてください。
以前のレポートも残っているので注意してください。

4.不要ネット名の削除機能

G列にネット名を記載するとDRC列から削除されます。
(Undoはできません。再度貼りつけることになります。)
行の消去は手動で行っても構いません。

5.ガーバーデータ生成

「GERBERデータ生成」ボタンを押すと「GERBERシート」にガーバーデータが生成されます。

この時のD10は0.1mmです。

「XYシート」は、それを生成する為の元ネタです。

6. 「Altium designator」からガーバーデータを出力して「Camtastic」でチェックします。
そこに生成したガーバーデータをインポートして重ね、必要なレイヤと共に印刷
します。

7.応用編1 (XYシートから直接ガーバーデータ出力する機能)

「XYシート」ではA列にネット名が表示されているのでそれをもとに行編集し
必要なネット名だけのガーバーデータを出力することが可能です。

出力名は「Rats_Edit.gbr」となります。

この時の太さのD10は0.2mmと少し太くしてあります。

このD10の部分をテキストエディタで編集すれば太さの変更も可能です。

この手順を複数のネット名で個別に処理する場合は事前にファイル移動するか
リネームしておいてください。

手早く処理するにはここでGNDネットの複数ネットを別のEXCELデータに退避させ
GND無しで一度生成し、次に退避させたGNDネットだけを貼り付け直して生成することも
可能です。

8.応用編2

ネット名別にガーバーデータを出力する方法

DRC レポートを事前に別のEXCELに貼りつけてソートすればネット別になります。

前出「7.応用編1」の方が簡単ですが、お好みで選択してください。

必要なネット名の部分を貼り付けてガーバーデータを生成後に*.gbrをそれぞれリネームして管理してください。

下記にその例を示します。

ここで分割

Un-Routed Net Constraint: Net GND Between Pad ...

Un-Routed Net Constraint: Net GND Between Pad ...

Un-Routed Net Constraint: Net GND Between Pad ...

ここで分割

Un-Routed Net Constraint: Net Net1000 Between ...

Un-Routed Net Constraint: Net Net1001 Between ...

Un-Routed Net Constraint: Net Net1002 Between ...

改版履歴

R01	Jan.8 2021	新規
R02		バグフィックス
R04	Jan.9 2021	XYシートで編集したものも出力可能
R05	Jan.18 2021	XY座標に正側のオフセット機能を追加